

研究課題名	バンコマイシン投与患者における急性腎障害発現リスク因子に関する研究
研究責任者(職名)	薬剤科 才郷 博久
実施責任者(職名)	薬剤科 才郷 博久
研究期間	臨床研究倫理審査委員会 承認後 ~ 2025 年 9 月 30 日
研究目的と意義	<p>抗菌薬のバンコマイシンは、他の抗菌薬と比べ腎障害の発現率が高いことが知られています。薬剤部ではバンコマイシン投与中に腎障害が発現しやすい患者さんの要因を調べるための研究を行っています。この研究結果によっては、バンコマイシンを投与する患者さんの腎障害発現リスクの軽減につながる可能性があると考えております。</p> <p>この研究目的、研究方法は当院の倫理委員会で十分に審査され、承認されたものです。患者さんの診療録や検査データを用いて解析を行いますが、個人名、住所などは全て完全に匿名化され、個人を特定することは不可能となっており、患者さんご自身に不利益が及ぶことはありません。</p> <p>今後、バンコマイシンの治療を受ける多くの患者さんの将来の利益のために行われている研究ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま 永寿総合病院にてバンコマイシンを投与された方 約200例 ●利用する情報 上記調査対象の方の診療録から、血液検査データ、薬剤投与状況を中心に腎障害の発現に関するリスク因子の調査を行います。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】 薬剤科 才郷 博久</p>